



# MBニュース



## 【2015年度裏白木耳産地情報】

丸松物産株式会社

9月号で草菇の産地情報でも触れましたが、原料の産地である福建省漳州においては、工業団地や住宅地を開発するために、当地の政府によって農地が徴収されております。その為に栽培面積が年々減少し、原料も減産してます。更に今季は、収穫期である11月の天候が暖かく、気温が25～30℃前後(通常18～20℃)で推移している影響で、原料の収穫が約15日～30日遅れてスタートする見込みです。生産は11月～1月下旬頃まで行われますが、この遅れが影響すると、漳州地区全体の収穫量は約10%減産になると予想されております。人件費や資材コストは昨年と変わりませんが、今後の収穫量によっては、輸入価格に影響が出ると思われれます。弊社としては、今後も適切な産地情報を入手し、ご報告して参ります。

## 【2015年度中国産大黒くわい生産前情報】

中国国内の需要が減少した影響で、栽培面積が昨年より若干減少しました。その為に、原料も昨年より若干減産すると予想されております。生産は12月～2月下旬まで行われる予定です。今後も原料価格も含めた情報を収集し、ご報告して参ります。

## 【公務員の「転職熱」？ 将来性無く、低い給与が主な原因】

先日、過去最大規模の浙商(浙江系の企業)就職説明会が上海で開かれた。浙江省で就職する上海の大学卒業生が年々増加しているだけでなく、公務員が浙商に加わるケースも増えているという。新聞晨报が伝えた。

Aさんは若い公務員で、卒業後、念願叶ってある街道(中国の行政区画の一つ)の公務員になったが、2年もしないうちに将来に希望を見いだせなくなってしまった。特に彼が意外に感じたのが、将来性がなく、昇進のチャンスが非常に少ないということだ。

さらに取材を進めていくと、より多くの将来性を求めるだけでなく、公務員の給与の低さもその主な原因であることが分かった。公務員のBさんは先日の就職説明会会場を一巡した後で、現在の彼の月収は5000元(1元は約19円)未満で年収は6万元以下だが、もし浙江省の企業に転職した場合、年収10万元以上を手にすることができるかもしれないと語った。

智聯招聘(求人サイト)が新たに発表した今年の人材流動分析報告書によれば、政府・公共事業・非営利団体、卸売・小売業、通信・電気通信業、サービス業等業種のホワイトカラーの異業種への転職が活発化している。なかでも政府・公共事業・非営利団体のホワイトカラーの異業種への転職率が昨年よりも34%上昇しており、公務員の「転職熱」が新たな高まりを見せている。(編集TG)

「人民網日本語版」2015年11月23日より抜粋

## 【お勧め商品情報】(ごぼう・蒟蒻、国産原料使用)

	商品名	和惣菜ごぼう蒟蒻 1kg×10	
	商品説明	ごぼうと蒟蒻の食感と風味にとことんこだわり、しごまと唐辛子を加え丁寧に炊き上げました。	
	主要原材料	ごぼう、蒟蒻、白ごま、唐辛子	
	賞味期限	製造日より6ヶ月	
	使用上の注意	賞味期限は、未開封の状態を基準としております。保存料は使用しておりませんので、開封後は冷蔵庫(10℃以下)に入れ5日以内にお召し上がりください。	